

ふるさと納税通信

問 経営企画課ふるさと応援係 ☎95-9866

ふるさと納税パートナー企業として活躍する^{オーファーム}O-farmの代表小笠原啓介氏にインタビューしました。返礼品は、甘みがたっぷり詰まった自慢のイチゴです。



Q イチゴを作り始めたきっかけは？

A 農家を継いで3代目になります。シンプルに農家に憧れがあり、中でも難しそうなイチゴを育ててみたいという思いがありました。当農園では「ゆめのか」という愛知県由来の品種を栽培しています。「章姫」や「あまおう」という有名な品種ではないですが、消費者にいろんなイチゴを知ってもらいたいからこそ一生懸命作っています。

Q ふるさと納税を知るきっかけは？

A すでにふるさと納税を始めていた農家さんからおすすめされました。ふるさと納税を始める農家さんが増えてきているので市の農産物が全国的にもっと有名になればいいなと思っています。

Q ふるさと納税を始める前の課題は？

A これまで販路の9割が市場などの対企業でした。売値が相場に左右されることや直接消費者と触れ合う機会がないことに、課題を感じていました。

Q ふるさと納税を始める前に準備したことはありますか？

A 全国発送の経験はなく、デリケートな食材のため消費者対応や梱包に不安がありました。九州にある妻の実家へ様々な梱包状態で出荷し、届いた品の写真を撮ってもらうなど、試行錯誤を繰り返しました。

Q ふるさと納税をまだ始めていない企業へ一言お願いします

A 自慢のイチゴを全国の消費者が評価してくれるのはとてもうれしいし、特にリピート注文してくれたのを見つけた時は喜びを感じることができます。他にも、市が開催する勉強会では様々なアドバイスやアイデアを得ることができます。

Q ふるさと納税がきっかけでどう変わりましたか？

A 寄附者から指摘を受けたことをきっかけに、梱包方法を改善しました。すぐに改善し、お届けしたところ大変喜んでいただけました。これを機に、「対応は迅速に、指摘は改善する」という自分のモットーとする取り組みが評価されることを実感しました。また、個人としてではなく市の一員という立場で臨んでいるので、自然と気が引き締まる思いです。



Q 商品のこだわりはどこですか？

A きれいに届くように改善した梱包方法だけでなく、もちろん味にも自信があります。練乳をつけずに生食がおすすめの食べ方です。さらに涼しい廊下に2時間程置いた冷たい状態がベストタイミングです。是非風呂上がり食べてみてください。冷蔵庫では、水分が飛んでしまうのでおすすめしていません。

Q 今後の目標は？

A 大きな目標は、愛知県中に当農園のイチゴを知ってもらうことです。そして、期間限定ではなく加工品などで通年で楽しんでいただくことです。